

けいひん薬局 かわら版

市販薬の選び方 ～塗り薬編～

保湿剤

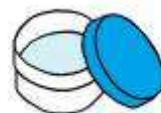
肌が乾燥するとバリア機能が弱まり痒みを起こしやすくなります。特に乾燥しやすい冬場は毎日の保湿を心掛けることが大切です。製剤によって使用感が異なるのでいろんな種類を試してお気に入りのを見つけましょう！

花粉症による肌荒れ予防にもおすすめ！

ワセリン製剤

刺激が少なく、安価で手に入るのが特徴です。皮膚に膜を張ることで水分の蒸発を防ぎます。

例) プロペト、白色ワセリン



ヘパリン製剤

副作用が少なく、水分保持作用がある「ヘパリン類似物質」という成分を含む商品のことをいいます。

水分保持作用、血行促進作用抗炎症作用があるのが特徴です。

例) ヒルマイルド



尿素製剤

古い角質を除去し、皮膚を柔らかくします。傷口に塗るとしみるため、ひび割れやあかぎれ、傷は避けてぬりましょう。

例) 尿素スキンクリーム

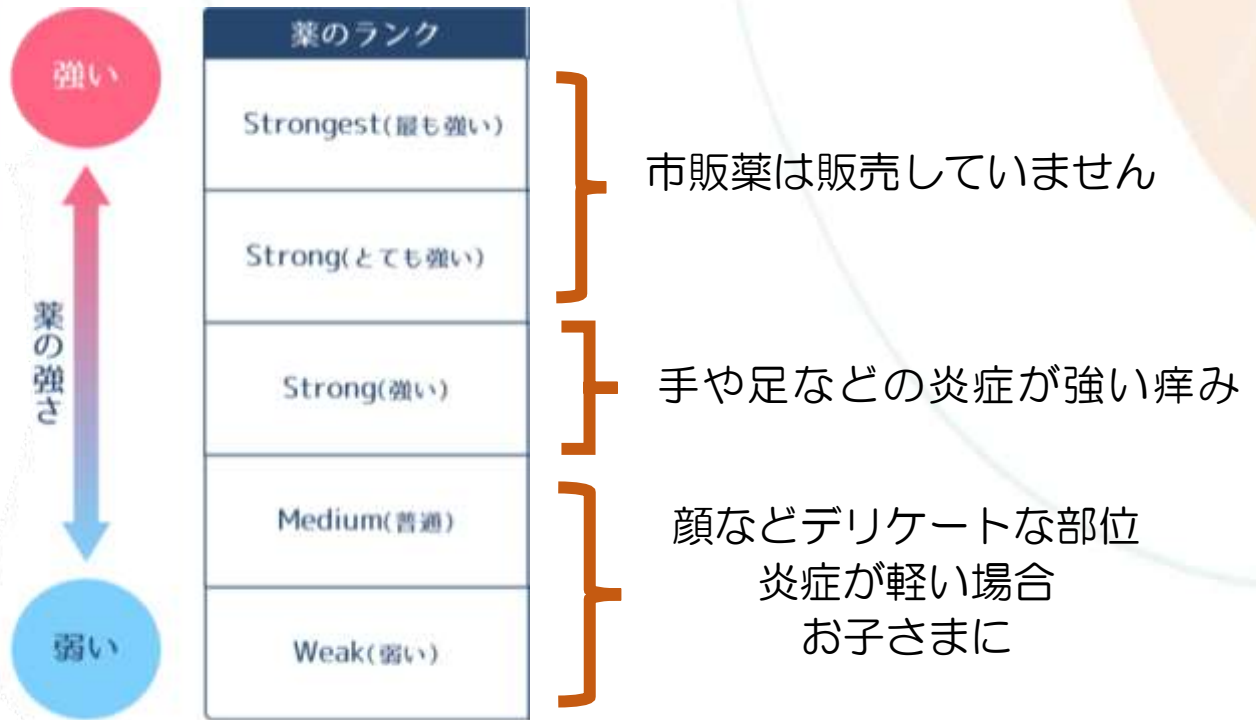
裏面に続く

痒み止め

乾燥や虫さされに等により痒みや赤みが出た場合の薬を紹介します。
大きく分けてステロイドを含むものと含まないものに分けられます。

ステロイド外用薬とは

局所（塗った部分）の炎症を鎮める作用にすぐれており、
湿疹・皮膚炎を中心に、皮膚疾患の治療に幅広く用いられているお薬です
薬の強さに応じて5ランクに分けられています（下図参照）



ステロイド含むもの

- 例) フルコート f 軟膏 …Strong
- 新リビメックスコーワ軟膏 …Medium



ステロイド含まないもの

- お子さまやデリケートな部位にも使用できます。
- 例) 新レスタミンコーワ軟膏

このような場合は皮膚科に受診を！

- 1週間程、市販薬を使用しても症状が変わらない・悪化している
- 炎症部位が広く、塗布する使用範囲が広い
- 目の周囲に炎症がある



どれを選べばよいか悩んだら
ぜひ薬剤師に相談してください！